

1 開催日時・場所

令和7年12月25日（木）15:00～17:00

関東森林管理局 東京事務所 会議室

2 議題

（１）木材の需給動向について

（２）国有林材の供給調整について

3 検討結果

原木の出材量は順調。原木価格はスギが値上がり傾向だがヒノキは値下がり傾向である。

国産材製品については、荷動きは鈍く価格も横ばいとなっている。

今後については、例年どおり出材量が増え、原木価格は弱保合で推移すると見込まれる。製材品需要は低迷しているが、円安が続いており状況を注視していく必要がある。

以上のことから、現時点では国有林材の供給調整は不要と判断される。国有林においては、各地域の状況を踏まえた的確な供給に取り組むとともに、供給調整が必要となった場合に備え、地域の実情に即して機動的に対応策が打てるよう引き続き検討をお願いする。

4 主な情報、意見

○ 静岡県では、出材量、販売量共に少ない。円安傾向が続いており外材の大きな値下がりも想定されないので、今後も保合で推移していくと見込まれる。

○ 茨城県では、共販所への原木入荷量は昨年より多い状況。価格はスギが上昇傾向だが、ヒノキは9月頃から下落傾向が続いている。例年よりも国有林事業が前倒しで進んでおり、今後は民有林材が増える見込み。

○ 製材工場では秋口には原木不足の状態であったが、入荷が増えてきて不足感がなくなってきた。製品市況はスギ材が不足気味だが、ハウスメーカー等の抵抗感が強く値上げが進んでいない。

○ 合板の生産調整は続いている。輸入合板の価格が上昇傾向にあり、国産合板の値上げに期待感がある。原木集荷、製品出荷ともトラックの確保に苦慮している。

○ 栃木県では原木の出材は順調。スギの引き合いは強く、ヒノキは引き合いが弱い。県内製材工場の原木在庫が少ないため、今後も例年どおりの価格で推移するものと見込まれる。

○ 群馬県では年度当初から原木の出材は低調であったが、ここにきて動きが出てきた。担い手不足もあり供給が多くなる見込みは薄いいため、今後も横ばいか強含みで推移する見込みである。

○ 福島県浜通りでは原木の出材は順調。スギ4m材の引き合いが強く供給が追い付いていない状況。今後は原木の出材量は増える見込まれる。

○ 茨城県では原木出材量は増えてきている。原木価格はスギが高止まりしているが、ヒノキは値

下がりしている。今後は原木流通量がかなり増え、価格は弱含みで推移すると見込まれる。

- 茨城県では原木が不足しているという声もある。建築確認の遅れは解消しつつあるが、製材品は大きく動いていない様子。今後も住宅着工数減少のため大きな盛り上がりにはならないと見込まれる。
- 円安の影響については注視している。外国人労働者について最近インドネシアが注目されている。EUDR（欧州森林破壊防止規則）の2度の延期が、世界的な環境配慮の流れの中で重要な動きと考えている。

令和 7 年度

第 3 回

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時：令和 7 年 1 2 月 2 5 日（木）

1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0（予定）

場 所：関東森林管理局東京事務所 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）木材の需給動向について

（2）国有林材の供給調整について

（3）その他

3 閉 会

令和7年度 第3回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

日時:12月25日(木)15:00~17:00

場所:関東森林管理局 東京事務所 会議室

○委員

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名	出 欠
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一	出席
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	磯邊 晋吾	出席
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 広興	出席
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子	出席 (web)
栃木県森林組合連合会 代表理事専務	佐橋 正美	出席
群馬県森林組合連合会 木材部 販売課長	田村 進	出席
福島県森林組合連合会 代表理事専務	丹治 俊宏	出席 (web)
株式会社堀江林業 代表取締役	堀江 賢一	出席
茨城県県北農林事務所 林務部門長	村田 万里子	出席
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 領域長	山本 伸幸	出席

○関東森林管理局

官 職	氏 名	出 欠
森林整備部長	増田 義昭	出席
資源活用課長	齋藤 一広	出席
東京事務所 副所長	川添 貢	出席
企画官(木材需給対策)	松坂 勝士	出席
技術指導官(木材供給担当)	藤嶋 学	出席
長期安定供給係長	齋藤 博	出席
素材供給係長	小柳 勝志	出席
供給計画係長	井上 祥吾	出席